

1 単 元 食料自給率について考えよう

2 情報の交流を行う場面

子どもたちは、日本の食料問題について、「食料自給率を高める」立場と「今のままでよい」立場に分かれて、自分が選んだ立場のよさに関する情報をインターネットから収集し、「情報掲示板」に書き込んでいる。情報掲示板はネットワーク上に存在する掲示板で、みんなで書き込んだ情報を共有することができる。違う立場の友達とグループを作り、情報掲示板で共有した情報を頼りに、お互いの立場のよさを発表し合ったり話し合ったりする活動を取り入れる。

3 情報の交流により期待される効果

違う立場を選択した友達と、それぞれの立場のよさについて発表し合ったり話し合ったりする中で、自分の考えの根拠となる情報を明らかにし、自分の考えを構成することができると思える。

4 指導計画（10時間完了）

- (1) 食料自給率について関心を高め、今の日本の現状を知ろう・・・1時間
- (2) 日本が取るべき立場を選択しよう・・・1時間
- (3) 選択した立場に関する情報を収集し、情報掲示板に書き込もう・・・3時間
- (4) 根拠となる情報を選択し、自分の考えを構成しよう・・・1時間（本時）
- (5) 新聞にまとめて発信しよう・・・4時間

5 本時の指導

(1) 目標

- 違う立場を選択した友達と、それぞれの立場のよさについて発表し合ったり話し合ったりする中で、自分の考えの根拠となる情報を情報掲示板の情報の中から選択し、それを基に、自分の考えを構成することができる。

(2) 準備

教師：それぞれの立場の情報掲示板に書き込まれた情報を印刷したプリント
 考え構成シート

(3) 指導過程

| 時間配分 | 学 習 活 動 | 指導上の留意点 | 評価の観点と方法 |
|------|---|--|--|
| 10分 | ○ 本時の学習のめあてを確認する。 | ○ 違う立場の友達とグループを作り、お互いの立場のよさについて発表し合ったり話し合ったりすることを確認する。 | |
| 20分 | ○ 違う立場の友達とグループを作り、お互いの立場のよさについて発表し合ったり話し合ったりする。 | ○ 自分がインターネットで収集した情報だけでなく、情報掲示板の情報にも着目させる。 | ○ 情報掲示板の情報も活用して、自分の立場のよさについて話し合っているか、話し合いの様子からつかむ。 |

| | | | |
|-----|---|--|--|
| 10分 | ○ 自分の選んだ立場に関する情報の中から、根拠となる情報を選択し、考え構成シートを活用して、自分の考えを構成する。 | ○ 考え構成シートに根拠とした情報を書き込むときは、短くまとめて書くように指示する。 | ○ 自分が収集した情報だけでなく、情報掲示板の情報も根拠としながら、自分の考えを構成できたかどうか、考え構成シートの記述からつかむ。 |
| 5分 | ○ 次時の活動を知る。 | ○ 根拠とした情報と構成した考えを、同じ立場を選んだ友達同士でグループを作り、新聞にまとめていくことを知らせる。 | |

6 実践の様子

立場の違う友達とグループを作り、お互いの立場のよさについて、発表し合ったり話し合ったりした。初めは、自分が収集した情報だけを頼りに、自分の立場のよさを主張し続ける子どももいたが、違う立場の友達から様々な質問を受ける中で、自分の立場の主張に行き詰まり、情報掲示板に書き込まれた情報



話し合う子ども

にも着目して、質問に答えることができるようになった。どの子どもも、情報掲示板で共有することのよさに気づき、自分で収集した情報だけでなく、情報掲示板で共有した情報の中からも、根拠となる情報を選択し、考え構成シートに自分の考えを構成することができた。

7 成果と課題

○ 立場の違う友達と、お互いの立場のよさについて、発表し合ったり話し合ったりしたことで、自分の収集した情報だけでなく、情報掲示板に書き込まれた情報も根拠にして、より多くの視点から自分の考えを構成することができた。

● 自分の収集した情報だけでなく、情報掲示板に書き込まれた情報も根拠に自分の考えを構成することはできたものの、根拠とした情報は、自分が選んだ立場の情報だけにとどまってしまう。違う立場の情報も根拠に、自分の考えを構成させる必要性を感じた。